130th

# CSR Report 2018

Countdown to 140th

大川印刷

OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

## 社長あいさつ SDGs を経営計画に ~SDGs を有効に活用した意義の高い CSR へ

「CSR 活動レポート」をご覧頂き誠にありがとうございます。弊社では CSR のガイドライン規格である「ISO26000」の「7 つの原則」、「7 つの中核課題」をガイドに、事業におけるリスクと機会を判断しつつ、2017 年度は新たに SDGs（持続可能な開発目標）を経営計画に盛り込み活動を展開して参りました。

これまで、2002 年社会起業家の調査研究と交流、2003 年には企業の社会貢献・CSR についての研究、そして 2005 年「ソーシャルプリンティングカンパニー（社会的印刷会社）」宣言を行い、本業を通じた社会課題解決を実践。それにより様々な NPO・NGO、各種団体とのパートナーシップができてきました。

そのような経緯から、SDGs に掲げられた 17 つの目標に対しても、様々なパートナーシップにより目標達成に寄与することができるのではないかと考えました。

CSR 自体に関する信念は変わるものではありませんが、お客様からはなかなか理解が得られない、ニーズとして高まらない状況があるのも事実です。

一方で SDGs は世界の課題をできるだけわかりやすく 17 つに整理したものと捉えることができます。

そこで、このSDGsを活用することによってより分かりやすい、そして意義の高い CSR 活動ができないものかと考えた次第です。CSR は誰のため、何のために行うのか？そして誰に対し、何に対し、どれくらいのインパクトを生み出そうとしているのか？そのようなことも SDGs によって全社的に考える機会が増えてきました。

まだまだ成果としては決して大きくはありませんが、ご覧いただければ幸いです。ありがとうございます。

株式会社大川印刷　代表取締役社長
大川哲郎

# 大川印刷の CSR

**私たち大川印刷は「情報産業の中核として信頼に応える技術力と喜びを分かち合えるものづくりの実現」を基本理念に掲げ、ISO の CSR 規格である「ISO26000」をガイドとしながら、本業を通じた様々な社会へのお役立ちを目指しています。**

## ISO26000
## 7 つの中核主題（社会責任）に対する基本的な考え方

**【組織統治】**
基本理念である「情報産業の中核として、信頼に応える技術力と、喜びを分かち合えるものづくりの実現」に基づき、健全かつ公平な経営体制を構築し、経営の透明性・健全性・遵法性の確保、迅速かつ適切な情報開示に努めてまいります。

**【人権】**
ステークホルダー全ての人権と尊厳を尊重すること、また、いかなる差別や嫌がらせも許さず、それらを見過ごすことも許さないことを基本方針とします。

**【労働慣行】**
差別のない公平、公正を基本とし、お互いが尊重し合い、差別や嫌がらせのない職場環境を確保することで活力ある企業風土を醸成させます。また、学び合い、成長し合える組織風土づくりを大切にし、社員の心身のゆとり、豊かさを実現できるように努め、快適、安全で清潔な職場づくりを行うことを基本方針とします。

**【環境】**
持続可能な社会・経済の実現のためには、持続可能な環境を維持・向上させていくことが重要であると考えます。そのため、独自の「品質・環境方針」にて基本方針を示すと共に、今後は国連の提唱する SDGs の内容も取り入れ活動を推進していきます。

**【公正な事業慣行】**
ステークホルダーに対し、あらゆる法令及び規定業務の遵守をお約束するとともに、取引先に対しては、公正な取引関係のもと、業務を適正に受託し事業を実施することを基本方針とします。

**【消費者に関する課題】**
「消費者」は「生活者」と表現します。生活者に直結する課題として、「化学物質過敏症に関連する VOC の削減」、「3R を始めとした環境問題」、「製品における異物・異種混入の防止」、「情報保障としてのメディア・ユニバーサルデザインの推進」を重要課題として取り組みます。

**【コミュニティへの参画】**
地域の課題抽出および課題解決のため、企業・行政・市民・NPO・市民団体等のコミュニティへ積極的に参加していきます。

# 大川印刷× SDGs

大川印刷では、SDGs の考えを経営計画に取り込み、新たなチャレンジをスタートさせました。

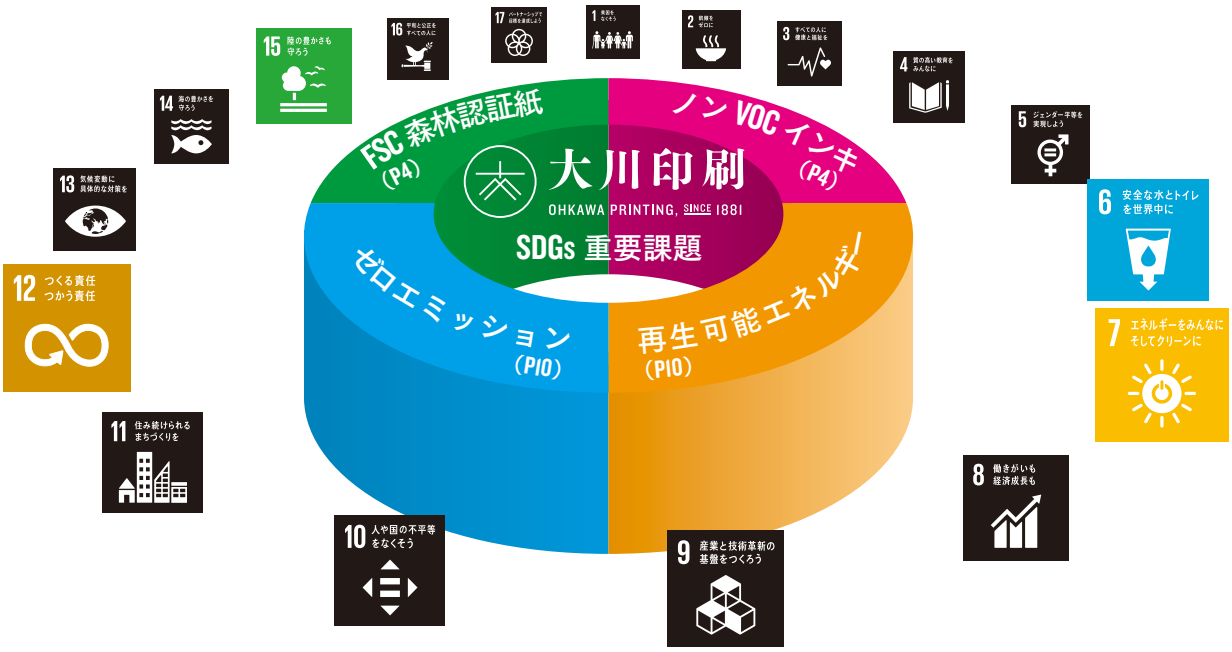
## SDGs（Sustainable Development Goals）とは

世界では環境汚染や格差問題など、全世界で取り組まなければならない多くの課題が残されています。2015 年、それら様々な課題に対して 17 のゴールと 169 のターゲットからなる国際開発目標「SDGs（持続可能な開発目標)」が日本を含む世界 193 ヵ国の合意のもと国連において採択されました。SDGs は 2030 年までに達成すべき目標とされ、わが国でも 2016 年に「SDGs 推進本部」が設置され、国や自治体、企業や NPO、市民、さまざまな人々を巻き込んで「SDGs」目標達成のための活動が始まっています。

## 大川印刷　SDGs 経営計画

わたしたち大川印刷でも、この「SDGs」の考えを経営計画に取り込み、新たなチャレンジをスタートさせました。
「SDGs」の 17 の目標のうち、特に本業と関係の深い 4 つの目標を中心に、さまざまな活動やプロジェクトを立ち上げソーシャルプリンティングカンパニー（社会的印刷会社）を推進していきます。

従業員による SDGs 経営計画策定の様子



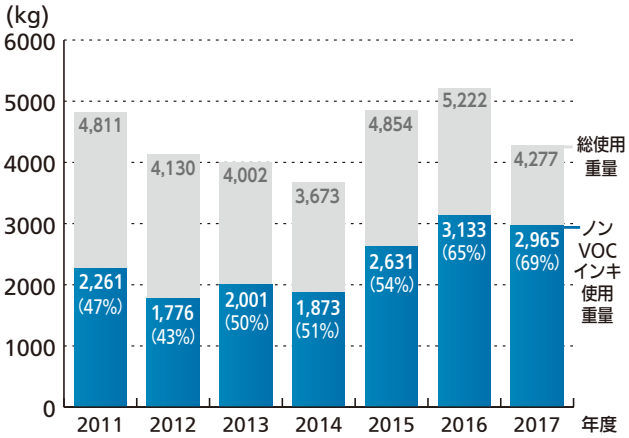
# 本業を通じたCSR活動とSDGs
## （環境印刷の推進）

「ノンVOCインキの使用推進」、「FSC® 森林認証紙の推進」、「$CO_2$ 排出量削減」、「$CO_2$ ゼロ印刷の推進」の4項目を、本業を通じて取り組めるCSR活動と位置づけ、重点的な推進活動を行っています。

## ノンVOC（石油系溶剤0%）インキの使用

2005年から環境や人体に有害なVOC（揮発性有機化合物）を含まないノンVOCインキの導入を開始しています。すでに基本となるカラー4原色(CMYK)は全面切り替え完了（2005年）しており、残る特色インキのノンVOC化も進んでいます。

VOC FREE™ ノンVOCインキマーク




**2017年 実績** お弁当掛け紙のノンVOC化により、インキ年間総使用量4,277kgのうちノンVOCインキ使用量は2,965kgとなり総使用量全体の69%になりました。しかし、お弁当掛け紙のノンVOCインキへの移行が遅れ、目標としていた70%は未達となりました。

**2018年 目標** お弁当掛け紙のノンVOC化が進みましたのでインキ全体使用量の使用率80%達成を目指します。

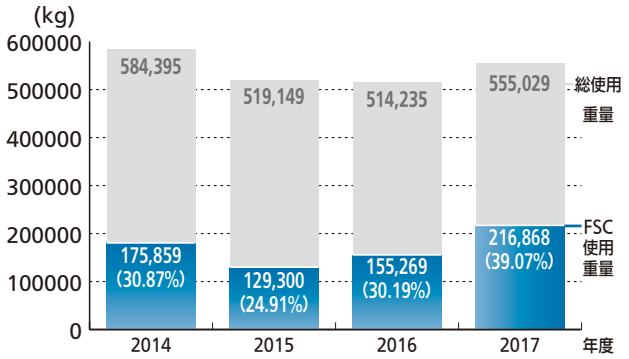
**2019年 目標** インキ全体使用量使用率90%の達成を目標とします。

**2020年 目標** インキ全体使用量使用率100%の達成を目標とします。

## FSC® 森林認証紙の使用推進

2004年からFSC® 森林認証紙を積極的に使用しています。FSC（Forest Stewardship Council、森林管理協議会）によって認証された紙は違法伐採されていない、適切に管理された森林から産出された木材チップを原料としています。FSC® 森林認証紙を使用することは、違法伐採の防止、持続可能な資源の活用へとつながります。

FSC マーク




**2017年 実績** 2017年度の年間用紙購入総重量555,029kgのうち、FSC® 森林認証紙の購入総重量は216,868kgでした。購入した用紙全体におけるFSC森林認証紙の占める割合は、39%となり、2017年度の購入比率目標35%を達成しました。計画した添付文書（ロール紙）のFSC® 化、お弁当掛紙の一部FSC化への移行が予定通り完了したことで目標を達成することができました。

**2018年 目標** 用紙購入比率FSC® 50%の達成を目標とします。

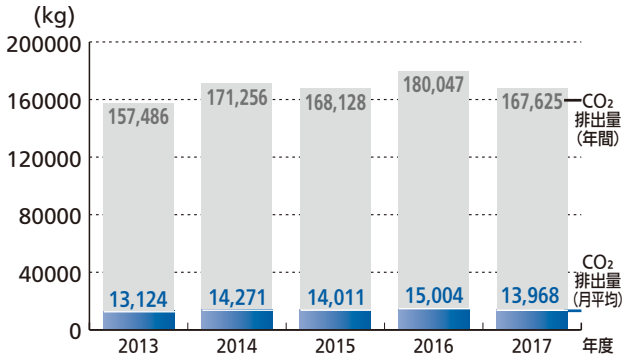
**2019年 目標** 用紙購入比率FSC® 65%の達成を目標とします。

## $CO_2$ 排出量削減

2007 年から全社における電気使用量による CO2 の年間排出量を計測し、日々の改善活動による CO2 排出量削減に努めています。

**2017 年 実績** $CO_2$ 排出量目標 （月平均）14,254kgに対し、排出量（月平均）13,968kgという結果になりました。売上単位排出量（月平均）に換算すると 2.9kgとなり、昨年実績より約 7% の削減となりました。

**2018 年 目標** 改善活動による不良品の削減をすすめ、売上単位排出量（月平均）2.8kg を目指します。（2017 年度ベースで約 3% 削減）




## $CO_2$ ゼロ印刷開始

2016 年より自社印刷事業により排出される年間の$CO_2$を算定し、その全量をオフセット（相殺・打消し）する「$CO_2$ ゼロ印刷」を開始しました。「$CO_2$ ゼロ印刷」は、政府の推進する $CO_2$ の国内排出量取引制度「J- クレジット」を使用し、弊社より排出される $CO_2$ と同じ分だけのクレジットを購入、それを国内の森林育成事業や温室ガス吸収事業に投資することでオフセット（相殺・打消し）し、達成されます。

カーボンオフセットマーク

### $CO_2$ 排出量 100%カーボン・オフセットの仕組み

| | |
|---|---|
| 各地の $CO_2$ 削減事業 | ・北海道下川町、山梨県の FSC® 認証林の森林育成<br>・家庭用太陽光の導入<br>・横浜ブルーカーボン |

クレジット調達（J- クレジット） ↓　↑ プロジェクトへの支援（投資）

| | |
|---|---|
| 大川印刷 | 印刷事業に関わる $CO_2$ 排出量をゼロへ |

$CO_2$ ゼロ印刷物を納品 ↓　調達により環境貢献

| | |
|---|---|
| 顧客事業者 | 「スコープ 3（その他の間接排出量）削減に貢献」 |

$CO_2$ ゼロ表示の商品を選択 ↑

| | |
|---|---|
| 生活者 | $CO_2$ ゼロ表示の商品を選ぶことで温暖化対策に貢献 |

**2017 年 実績** 2016 年度の年間 $CO_2$ 排出量 168t/$CO_2$ を算出。この数値を元に 170t/$CO_2$ 分を「J-クレジット制度」を利用してカーボン・オフセットしました。
2017 年度からは、横浜市が推進する「横浜ブルーカーボンプロジェクト」に投資し、地元横浜の海の再生事業にも投資しています。

**2018 年 目標** 2017 年度の年間 $CO_2$ 排出量 167t/$CO_2$ を元に 170t/$CO_2$ を購入、CO2 ゼロ印刷を行います。また、2018 年度よりスタートした「再生可能エネルギー 100% プロジェクト」（P10）において、CO2 排出量の少ない太陽光パネルによる自社発電や再エネ比率の高い電力会社からの電力購入を進めます。

**2019 年 目標** 本社・工場の照明を蛍光ランプから LED ランプに交換、CO2 排出量の削減活動を進めます。

【$CO_2$ ゼロ印刷の仕組み詳細はこちら】
http://www.dreamnews.jp/press/0000129584/

### オフセット（相殺・打ち消し）事業投資事業内訳

| 年度 | 2016 年 | 2017 年 | 2018 年（予定） |
|---|---|---|---|
| 住宅太陽光パネル設備の導入における発電事業 | 165t | 159t | 167t |
| 北海道下川町五味温泉等の森林バイオマス活動事業 | 5t | 5t | 1t |
| 山梨県県有林活動温暖化対策プロジェクト | 5t | 5t | 1t |
| 横浜ブルーカーボンプロジェクト | | 1t | 1t |

# 品質に関する取り組み

**ISO9001 の認証を受け、同規格に沿った品質管理体制を採っています。さらに、独自の「品質・環境方針」を定め、環境負荷低減、汚染防止、顧客満足向上、従業員満足向上等、製品だけでなく「あらゆるサービス」の品質向上に努めています。**

## 大川印刷 品質・環境方針

1．「品質」とは製品の品質だけを対象とするのではなく、提供するあらゆる「サービス」についてもその対象とします。
そのため、製品やサービスの環境対応、環境負荷の低減、汚染防止についても私たちが提供する「品質」の重要な一部です。

2．「顧客満足（CS）」とは「お客様の期待を上回ること」と定義すると共に、環境対応も CS の一部として活動します。

3．「従業員満足（ES）は顧客満足（CS）に先立つ」という考えのもと、ES の向上を推進します。

4．自社の提供する製品やサービスの「品質」と環境対応の向上が ES の向上にもつながるものと捉えています。

5．すべての活動は法令順守、規格要求事項の順守のもと行われ、継続的改善を行うものとします。

2014 年 9 月 3 日

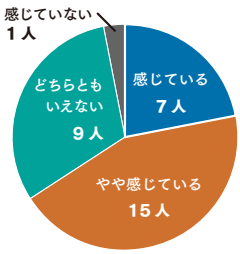
### 従業員意識調査の実施

よい製品、よいサービスをお客さまへ提供していくには、従業員が誇りややりがいを持ち、安心して働ける職場環境が不可欠です。多様な人財にとって働きがいのある職場環境を整備していくため、従業員への意識調査を実施しました。どのような気持ちで働き、なにを望むのか、現状を把握し、明確になった課題を参考に、職場環境の改善につなげていきます。【図 1】参照

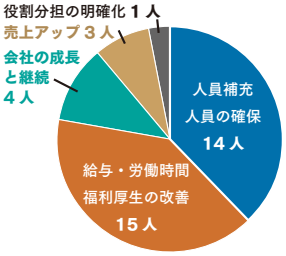
### 社内外通報制度の設置

企業活動に伴うコンプライアンスの遵守、事件、事故に繋がりかねない潜在的なリスクの早期発見、早期対応ができるように、2017 年度より社内と社外に通報窓口を設け、倫理、法令の遵守に努めています。
【図 2】【図 3】参照

**【図 1】従業員アンケート**

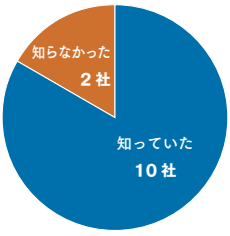



現在の仕事に「やりがい」を感じていますか？

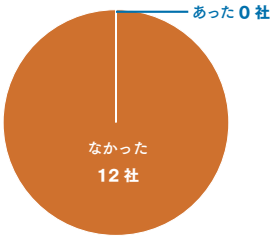



会社に期待することは何ですか？
（複数回答）

**【図 2】パートナー企業通報制度アンケート（12 社）**

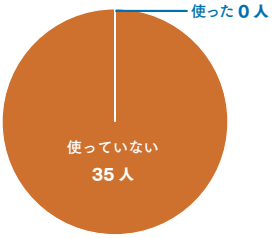



大川印刷の通報制度をご存じでしたか？

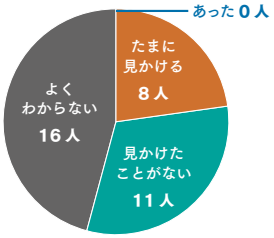



大川印刷の通報制度を利用する事例がありましたか？

**【図 3】従業員職場環境調査（35 名）**




通報制度を利用したことがありますか




社内でパワハラ、セクハラなどの行為を見かけたことはありますか

弊社企業活動におけるコンプライアンスに関わる問題、その他お気づきの点がありましたら右記までご連絡をお願い申し上げます。

株式会社大川印刷 社外通報窓口 中原総合法律相談事務所（中原 茂 弁護士）
TEL：045-650-7780

# 教育に関する取り組み

**真の企業価値は「人財」にこそあると考え、日常業務を通じた様々な人財育成、教育活動を行っています。**

## SDG s報告会（CSR報告会）の開催

2012年から過去5回、年に一度開催している「CSR報告会」を今年は「SDGs報告会」と改め、2018年2月20日（火）に開催いたしました。毎年開催されるこの報告会は、従業員にとっても貴重な学びの場となっています。2017年度報告会のテーマは「大川印刷SDGs元年～持続可能な社会を実現するために地域企業ができること～」とし、2017年度の弊社の取り組みや今後の目標についての報告を行いました。また、不法な児童就労問題に取組まれているNPO法人ACE様や、弊社の長期インターンシップ生として「おくすり手帳（多言語版）プロジェクト」を担当、その後青年海外協力隊に参加された小林愛鐘さんをお招きし、派遣先のガーナでの体験やSDGsに関係する活動について講演をしていただきました。

当日は80名以上のお客さまやパートナー企業の皆さまにお越しいただき、日頃のご理解とご協力に感謝申し上げ、従業員一同、貴重な時間を共有することができました。

活動報告をする小林さん（左）

NPO法人ACE岩附様の事例発表

従業員による事例発表

質疑応答の様子

## CSR推進シート

2015年度より「CSR推進シート」を運用しています。CSR推進シートは、CSR・CSVに関する活動を行う際に使用するもので、ステークホルダー・弊社のメリット、スケジュールや予算、効果測定方法等を記入します。このシートを用いることで、①活動内容を整理する／②他の従業員にも活動をわかりやすく伝える／③活動記録として残ることが期待できます。新たに取り組み始めた「SDGs経営計画」にも使いやすいよう改訂し、よりよい活動の推進へと繋げていきます。

## 委員会活動（2017年度）

2010年から全社横断、全従業員参加の委員会活動を行っています。委員会活動では、ボトムアップによる社内・社外のさまざまな課題解決、改善活動を行っています。

**ビジョン推進室**

**みんなの幸せ向上委員会**

従業員満足度を向上させる
社内改善や社内外活動への参加など

**CSV委員会**

CSR・CSV活動全般の企画運営など

**品質保証チーム**

社内における「品質」向上と改善のための活動

# 地域貢献に関する取り組み

独自に「地域志向・CSR 方針」を定め、地域社会の一員として、さまざまな地域貢献活動を行っています。

## 大川印刷 地域志向・CSR 方針

株式会社 大川印刷は、地域社会にとって有益なサービスを提供するため法令を順守し、2020 ビジョン、「企業行動規範」の下で、以下の事項を企業活動の中で実施します

【目的】
100 年企業としてこれからも地域に貢献し、企業経営を継続していくこと目的に CSR 活動を推進しています。
【目標】
そのために地域や社会に必要とされる人と企業になることを目標とし、あらゆる「良いこと」を実践していきます。
■お客様に対して
・お客様のご要望に真心を持って応え、要求された品質を確実にご提供致します。
・関連法令を順守し、お客様に信頼される営業活動を推進致します。
■地域社会に対して
・地域の経済や社会の健全な発展のため地域貢献活動を積極的に推進します。
■従業員に対して
・労働関連法令を順守し、安全で働き易い職場環境作りを推進します。
■ステークホルダーに対して
・ステークホルダーの皆様とともに発展して行くため、信頼関係を積極的に醸成していきます。
■環境に対して
・自らが環境問題に対し行動ができるひとりの人間として日頃から興味を持って情報の収集と知識の蓄積に自己努力するとともに出来ることから自発的に行動していきます。

地域志向 CSR マネジメント・システムとその成果を改善し続ける努力をします。

平成 21 年 2 月 26 日
株式会社　大川印刷
代表取締役　大川哲郎

平成 21 年に制定した地域志向・CSR 方針

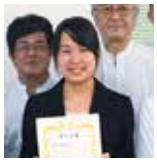
## インターンシップの受け入れ

2008 年より大学生や留学生を中心にインターンシップの受け入れを行っています。これまで計 41 名（2017 年度末まで）の受け入れを行い、「大川印刷×インターンシップ生」の視点から、社会的課題解決のためのヒントや多くのプロジェクトが生まれました。

### 学生インターンシップ生（2017 年度）

井上弘陽（いのうえひろあき）さん（成城大学）
環境印刷や、環境だけでない人への配慮、社会人としての基礎を学んでいただきました。

費　暁丹（ひ　しょうたん）さん（横浜国立大学大学院）
日本のビジネスマナーや仕事の流れ、愛社精神について学んでいただいたほか、「おくすり手帳」の翻訳を手伝っていただきました。



高橋郁実（たかはしいくみ）さん（関東学院大学）
印刷の効率化によるインキ消費量削減の改善提案をしていただきました。

小川七海（おがわななみ）さん（明治大学）
増えすぎたシカが起こす様々な環境問題のほか、環境問題に取り組む企業の活動を学んでいただきました。

### 教員インターンシップ生（2017 年度）

阪本孝太（さかもとこうた）さん（東戸塚小）

加茂英介（かもえいすけ）さん（舞岡中）

スポーツを通じ地域課題の解決や職業体験による子どものキャリア学習、教育の現場と大川印刷の協働の可能性を提案していただきました。

北見　瞳（きたみ　ひとみ）さん（吉原小）

橋本知佳（はしもともたか）さん（深谷中）

非常時に使用する「避難所設営シールセット」の販促計画や、いじめ撲滅のための地域交流会の提案をしていただきました。

相場祐希（あいばゆうき）さん（南戸塚小）

田和勇人（たわゆうと）さん（豊田小）

地域企業と地域住民の交流による地域の活性化、環境保全や職業体験による子ども達への教育計画を提案していただきました。

CSR や SDG s に関心を持たれる方々に、ご依頼いただいた際には、講演活動や取材に応じさせて頂いております。

## 講演活動（2017 年度）

**2017**

5/ 9 横浜国立大学
5/12 明治学院大学
5/17 横浜日吉ロータリークラブ
5/23 社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク
7/ 7 横浜市立大学地域貢献センター
10/26 横浜グリーン購入ネットワーク
11/ 6 スタンダード推進協議会
11/ 9 横浜市立大学地域貢献センター
11/21 NPO ／ NGO ネットワーク
11/25 嘉悦大学大学院
12/19 横浜市青葉区

**2018**

2/ 7 一般社団法人 LTR コンサルティングパートナーズ
2/ 9 CO-NET
2/15 関東経済産業局
2/20 全国社会福祉協議会中央福祉学院
2/21 埼玉グリーン購入ネットワーク
3/ 1 横浜市立大学地域貢献センター
3/ 6 横浜グリーン購入ネットワーク
3/24 WWF ジャパン

（敬称略）

**講演に対するご意見・ご感想**

・経営戦略としての CSR の話は大変参考になった。相手のためになることが自分のためになるのだと感じた。自施設でも「人材」から「人財」へ表記を変えようと思う。
・大変有意義な時間だった。話に引き込まれ、色々とアイディアをもらった。

## メディア掲載

**2017**

4/ 9 産経新聞 私のイチ押し
8/ 1 ラベル新聞 避難所設営シールセット
8/ 1 日本経済新聞神奈川版 おくすり手帳
8/13 毎日新聞 おくすり手帳
8/22 読売新聞 おくすり手帳
9/10 東京新聞 おくすり手帳
秋 神奈川印刷ニュース
11/ 1 戦略経営者 社員一人一人が地域で必要とされる企業に
12/ 1 中法ニュース 大川印刷本社・工場見学を開催
12/10 神奈川新聞 SDGs 買い物の意識変わるか？
12/21 印刷新報 カーボン・オフセット大賞奨励賞
12/21 神奈川新聞 実現可能賞
12/25 日本印刷新聞 カーボン・オフセット大賞優秀賞にかがやく

**2018**

1/19 日本印刷新聞「持続可能」テコに新規事業創出支援）
2/ 1 タウンニュース戸塚区版 地ビールで「友好」を促進（ともだちウィートエール）
2/20 神奈川新聞 横浜ビール
3/ 6 日本経済新聞 再生可能エネルギー（初期投資ゼロ）
3/28 神奈川新聞 SDGs デザインフォーラム
3/29 日刊工業新聞 SDGs とビジネス
3/30 神奈川新聞 プレミアム表彰

## 環境絵日記地元企業賞表彰

2014 年より横浜市資源リサイクル事業協同組合主催の「環境絵日記」に、地元企業賞の選定と表彰に協力をしています。

2017 年度受賞作品
「未来のヨコハマについて地球の仲間と考えよう」

## 地域貢献・社会貢献イベントへの参加・協力

地域や社会のお役立ちにつながるイベントへ積極的に参加しています。イベントを通じて、ステークホルダーの皆さまと交流を深めるとともに、従業員が地域や社会の課題を学ぶ場にもなっています。

湘南国際村めぐりの森植樹祭（2017.11）

ユニセフ ラブウォーク in 川崎（2017.5）

## オープンファクトリーの開催

信頼の向上、共感の輪を広げ、社会や地域の課題をともに考えていただければと、ステークホルダーの皆さまを対象にオープンファクトリーを開催しています。本業である「印刷会社」としての活動のほか、地域企業が取り組む CSR、SDG s の活動事例もご紹介しています。

| | |
|---|---|
| 工場見学件数（2017 年度） | 16 件 |
| 工場見学人数（2017 年度） | 343 名 |

# さまざまなプロジェクト

**社会課題や地域課題の解決、地球環境や労働環境の改善、よりよい社会や組織を目指し、さまざまなプロジェクトを進行しています。**

## 多言語版おくすり手帳普及プロジェクト

病院や薬局で言葉に不安を抱えている外国人のために「多言語版おくすり手帳普及プロジェクト」を三者協働事業として立ち上げました。2017 年 7 月に「わたしのおくすり手帳」が完成し、新聞をはじめさまざまなマスメディアに取り上げていただき、作製した 5,000 冊のうち 3,000 冊を超える売り上げを得ることができました。4 カ国語（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語）の翻訳付きおくすり手帳は、病院や薬局などで役立つことと思います。今後は市民団体の協力を得て南米スペイン語、フィリピン語のおくすり手帳の計画を進めています。

よこはま国際フォーラム 2017 にて発表
左から、共生のまちづくりネットワークよこはま 飯田様・小池様、弊社蓑輪

横浜の市民団体と地元企業が製作
4カ国語のおくすり手帳

毎日新聞に掲載

## 工場内「ゼロエミッション（廃棄物ゼロ化）プロジェクト」

弊社では以前より、燃やすごみ、廃プラ、金属くずなど分別して廃棄していましたが、さらに押し進めた「ゼロエミッション（廃棄物ゼロ化）」プロジェクトをスタートさせました。取り組むにあたり、工場内のごみの内容を確認したところ、「ごみ」としてこれまで廃棄していたものの半分以上が「再生可能な資源」であることがわかりました。
混在して廃棄すればただの「ごみ」でしかないものも、分別すれば資源になります。身の回りにある様々な廃棄物の分別を徹底し、ゼロエミッション（廃棄物ゼロ化）を目指します。

分別資源計量の様子

## 再生可能エネルギー 100%印刷プロジェクト

工場内で使用する電力を再生可能エネルギー 100% に切り替える「再生可能エネルギー 100%印刷プロジェクト」が 2017 年よりスタートしました。工場の屋根に自家発電用の太陽光パネルを設置し、印刷機等を動かす電力を発電します。不足する電力は再生可能エネルギーにより発電された電力を電力会社から購入します。
その他、ガス、水道、車両燃料などで発生した $CO_2$ は横浜市が推進する「横浜ブルーカーボン事業」や戸塚区と友好協定を結んでいる北海道下川町のバイオマス発電などへの投資によりオフセットします。当プロジェクトは、SDGs の目標でもある化石燃料由来の電力から再生可能エネルギー電力への切り替えを目指し、社内での啓発セミナーなども同時におこなっていく予定です。

本社屋上の発電用太陽光パネル

# 第三者コメント

## ＩＩHOE（アイアイエイチオーイー）　人と組織と地球のための国際研究所　代表 川北秀人 様

当意見は、本報告書および同社のウェブサイトの記載内容に基づいて執筆しています。
同社の CSR への取り組みは、SDGs を経営計画に織り込み、ISO26000 に準拠しつつ、環境負荷の削減や地域社会貢献活動を中心に、意欲的に進められており、他社のモデルとなる水準にあると言えます。

**高く評価すべき点**

・ノン VOC インキ使用、FSC 森林認証紙の使用推進をはじめとする主な環境側面（P4-5）について、2017 年実績と 2018 年以降の目標を示していること。取引先に対する働きかけや、その反応に対する貴社の工夫などが明記されていること。一方で、昨年度に明記された 2020 年までの中期的な目標が今年度は示されておらず、その再掲を期待します。

・地域イベントへの協力や大学生インターンシップの受け入れをはじめとする地域社会貢献活動（P8-10）について、経営者自らが率先して社内外でイニシアティブを発揮し、「おくすり手帳普及プロジェクト」をはじめとする多様な実践とともに、他社の模範となる水準にあること。また、その取り組みの発信・共有にも熱心に取り組んでいること。今後も、従業員の方々によるボトムアップ型の取り組むも含め、継続されることを期待します。

**取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点**

・品質・環境方針（P6）に基づく全社的・日常的なマネジメントへの落とし込みについて、方針を定め、当該年度と次年度の目標や具体的な施策・改善を明記していること、コンプライアンスやハラスメントなどに関する従業員調査の結果を開示していることを評価しつつ、今後は、2020 年ごろを視野に入れた中期的な目標や定量的な指標が明記されることを、引き続き期待します。

・全従業員参加による CSR の推進体制（P7）について、「CSR 推進シート」を運用することにより、目的や進め方などの共有や改善が期待されることを評価しつつ、今後は、着手されていない課題・案件についても、同様に、共有や改善の対象とされることを引き続き期待します。

ＩＩＨＯＥ：「地球上のすべての生命にとって、民主的で調和的な発展のために」を目的に 1994 年に設立された NPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業の CSR 支援も多く手がける。http://blog.canpan.info/iihoe/

川北秀人氏：CSR 関連分野での略歴（2017 年 12 月現在）
1964 年大阪生まれ。87 年に京都大学卒業後、(株) リクルートにて国際採用・広報・営業支援などを担当し、91 年に退職。国際青年交流 NGO の日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94 年に IIHOE 設立。NPO や社会責任志向の企業のマネジメント、市民・事業者・行政などが総力を挙げて地域を守り抜く協働・総働の基盤づくり、企業のみならず、NPO や自治体における社会責任（CSR・NSR・LGSR）への取り組み推進を支援している。

# 第三者コメントをうけて

## 株式会社 大川印刷　代表取締役社長　大川哲郎

2017 年度は新たに SDGs（持続可能な開発目標）を経営計画に盛り込む挑戦をいたしました。SDG s には 17 の目標と 169 のターゲットが存在しますが、直接的間接的を問わなければ、何らかの形でこれら課題に活動を通じて関係していることを、年度初めに全従業員さんと確認を行った上でのスタートでした。

これにより複数のプロジェクトが始動し、新たな切り口で活動が推進されました。その結果、自分の仕事と社会や世界の課題とのつながりを理解しながら、一人一人が仕事に取り組む形ができつつあります。

そのような中、今回弊社の取り組みに関して一定の評価を頂きました一方で、2020 年までの中期目標が示されていないなど後退してしまった面もあったことは、特に反省すべき点と考えています。

トップマネジメント及びミドルマネジメントが機能していない表れでもあり、注意が必要と感じました。

その他のご指摘の点も真摯に受け止め、期待に応えるべく改善を図ってまいります。

また、品質・環境方針、そして ISO26000 に掲げられた中核課題について、2020 年を視野に入れた中期目標および定量指標を決定し、活動していくようにします。

自社の取り組みが社会に与える影響を今一度全従業員で考え、より具体的な目標を立てつつ、活動を推進して参ります。

## 編集方針

当レポートはステークホルダーのみなさまに私たち大川印刷の取り組みを広くご理解いただくため、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの活動内容を中心に編集しています。

グリーン購入ネットワーク「オフセット印刷サービス発注ガイドライン」に基づき作成しています。

印刷資材と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場で印刷しています。

リサイクルを阻害しない資材だけを使っています。

P10375

見やすさに配慮した、ユニバーサルデザイン書体を使用し、年齢の差、障がいの有無にかかわらず、誰にとっても使いやすく見やすい、メディア・印刷物である MUD 認定を取得しています。

有害な VOC（揮発性有機化合物）を発生させるもととなる石油系溶剤が 0%のインキを使用しています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C009309

違法伐採がされていない、適切に管理された森林から産出された木材チップを活用して製造された、FSC® 森林認証紙を使用しています。

CSR に取り組む印刷会社が制作・印刷しています。

P-00027

この CSR レポート 2017 を作成するにあたり、電力使用量は 79.6kwh、$CO_2$ 排出量は 38.1kg となります。2016 年 4 月より行っている、印刷事業において発生する $CO_2$ 全てをカーボンオフセット（相殺）した「ゼロカーボンプリント」で印刷しています。

「横浜地域貢献企業」の【最上位認定】を受けています。

facebook　YouTube　大川印刷 twitter @OhkawaPrinting　社長 twitter @tetsuo_ohkawa　大川印刷 Instagram @ohkawaprinting　社長 Instagram @tetsuo_ohkawa　社長ブログ


大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

本社・工場：〒 245-0053　横浜市戸塚区上矢部町 2053 番地
TEL：045-812-1131（代）FAX：045-812-1135

横浜営業所：〒 220-0011　横浜市西区高島 2-14-12 ヨコハマジャスト 2 号館 3F
TEL：045-441-2011（代）FAX：045-441-2014